

科研「子ども虐待防止の実践力」を育成する教員養成のあり方研究班主催

公開講演会

『CAREプログラムの実際 —研究と実践に学ぶ—』

「CAREとは、米国のシンシナティ子ども病院のトラウマ治療研修センターで開発された、子どもと関わる大人のための心理教育的介入プログラムです。このプログラムでは、落ち着きがなかったり、困った行動をしてしまいがちな子どもとの関係を、いまよりも良好に、子どもと大人との絆を強めることを目指します（CARE-Japan HPより引用）。現在、日本でもCARE-Japanが活動主体となり、親子支援をはじめとする現場で、CAREプログラムが用いられ始めています。

この度、PCIT-JapanとCARE-Japanの合同研究会に際し、CAREプログラムの開発者であり、実践家へのトレーニング部門のディレクターでもあるボート先生（シンシナティ大学）が来日されます。

東京でのご講演とWSの後に、大阪でも講演会を開催する事になりました。ボート先生にCAREプログラムの概要について紹介していただき、その豊富な研究と実践に学びたいと考えています。そして、「日本の学校現場へのCAREプログラムの導入可能性」についても探っていきたいと考えています。本講演会へは、子ども虐待問題に関心を持つ教員志望の学生や現職の先生方をはじめ、福祉・医療・保健領域で児童虐待に関心を持つ方々に、広く参加して頂きたいと考えております。多くの方々の参加をお待ちしております。



- 日 時 2012年1月26日（木） 13：30～17：00（受付13：00～）
- 場 所 大阪教育大学天王寺キャンパス ミレニアムホール
- 講演 13：30～16：30 講演「CAREプログラムの実際—研究と実践に学ぶ—」
講演講師：DR.Barbara W.Boat（シンシナティ大学）
通 訳：丸山恭子
16：30～17：00 意見交換とまとめ
司 会：岡本正子（大阪教育大学家政教育講座）
- 主催 科学研究費助成事業「子ども虐待防止の実践力を育成する教員養成の在り方」研究班
（代表者：岡本正子、分担・連携：北口和美・二井仁美・鈴木真由子・上田裕美・島善信・中山あおい・西牧謙吾・本間博彰）
- 事務連絡先 上田裕美 hueda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

☆参加費無料。申し込みは不要ですが、先着100名様までとさせていただきます。

<バーバラW. ボート先生のご紹介

Barbara W. Boat, Ph.D.,

○Associate Professor, Department of Psychiatry and Behavioral Neuroscience, University of Cincinnati Academic Health Center、○Director, The Childhood Trust, Cincinnati Children's Hospital Medical Center>